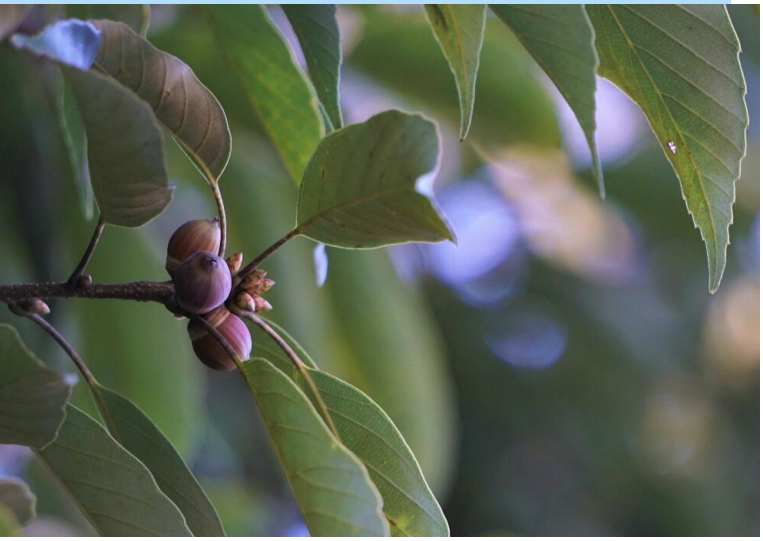
15アラカシ

名前の由来

アラカシは「粗樫」の名前のとおり、葉や枝振りが粗っぽいことに名前が由来してます。

上が【夏の様子】

下が【冬の様子】



アラカシの特徴

アラカシは、いわゆるどんぐりの木です。数多くあるどんぐりの中の一つですが公園や、山など、身近に植えられていることが多い木です。

その他

大きくそだつと、しんのちょっけいが、1メートルいじょう、高さ20メートルいじょうにもなるが日本かくちの川ではしんのちょっけいやく30センチ高さ10メートルが多い。

アラカシ

和名	粗樫	15	
別名	カシ、クロカシ		

分類				
	科（APG分類）	ブナ科	属	コナラ属
	科（旧分類）		属	
	科（旧分類）		属	

名前の由来

・葉が大きくて材が硬く、枝ぶりが粗々しい樫であることから
・幹の窪みがあり、枝ぶりが雑で荒々しい樫であることから
・樫（カシ）は材が硬いことから「樫（かたし）」から転訛されたと言われてます。

樹木の特徴

・本州の宮城県、石川県以西、四国、九州に分布する常緑高木で高さ20m以上になる。
・葉は長楕円形で両端は鋭三角形状、長さ10cmほどで、葉の上半分に鋸歯がある。表面は濃緑色で葉脈が目立ち、裏面は淡褐色の毛が粉を吹いたように白くなる。
・雌雄同株、雌雄異花で花期は4～5月。雄花は長さ5~10cmのひも状で2～3本ずつ垂れ下がり、雌花は新しい枝の先端近くにある葉の付け根に1～3個が咲く。
・雌花の後にできるドングリは径2cm程で開花した年の10～12月に熟す。ドングリの殻斗（帽子）には5~6本の横縞がある。

用途・その他

・樹皮は灰汁にアルミを加え、錫媒染して赤茶色系の染料に用いられる。
・材は硬く、建材、器具材、車両に利用。
・石油が主流になる前は各地にアラカシの薪炭林があり、人為的に管理されていた。病気や害虫にも強いとされるが温暖化が進み、特に都会では「うどんこ病」にかかることがある。

作成年月日　2021，09，03